

参考



令和6年度公募2次公募Q&A

1.0版 令和6年4月19日

No	分類	質問	回答
1	応募について	〇〇〇〇の研究をしていますが、どの領域へ応募すればいいのでしょうか？	公募要領2.2.1~2.2.6を参照の上、ご研究の内容に適した領域を選びご応募ください。
2	応募について	探索研究フェーズと革新的基礎研究のどちらに応募すればいいのでしょうか？	探索研究フェーズと革新的基礎研究それぞれで推進する研究や求められる成果が異なります。公募要領2.2の各領域の説明と併せて別表1「P-PROMOTEでの研究領域と研究推進の考え方」および別表2「推進する研究課題の研究フェーズとイメージ」をご参照ください。
3	応募について (研究費)	公募要領2.1に研究開発費の上限額が記載されていますが、課題遂行のために記載額を超えて提案することは可能でしょうか？	上限額を超えて申請することはできません。単年度の上限金額も遵守してご申請ください。なお、上限金額を超える申請は不受理となりますのでご注意ください。
4	応募について (技術支援)	公募要領1.2.3に技術支援の内容を盛り込んだ研究提案でも良いのでしょうか？	問題はございませんが、研究の主体は課題を提案された研究者の先生となりますので、課題を進めるに当たって適切な支援であることが分かるようにご記載ください。
5	応募について (技術支援)	公募要領1.2.3に記載されている技術支援は誰でも受けられるのでしょうか？	採択された課題であればどなたでもお受けいただけます。専門技術の支援は、本事業でのPS、POの承認を経たのちに必要な技術支援が行われます。
6	応募について (技術支援)	公募要領に、P-PROMOTEには研究推進サポート機関の研究支援が受けられると書かれていますが、数理モデルの作成支援やAIを用いた解析支援などを受けることができますか？	公募要領に記載されている支援業務以外には対応することができません。

No	分類	質問	回答
7	革新的基礎研究	領域Bとの違いは何でしょうか？	領域Bはすでに研究者が有しているシーズを異分野先端技術との融合により新規創薬システムを構築する研究開発を進める領域です。革新的基礎研究は、画期的なアカデミアシーズの創生を推進するため、がん研究者と、それに必要な技術を有する研究者のチームで行う研究で、新規診断・治療法開発につながる標的分子の特定や解明を進めます。本公募要領も合わせてご参照ください。
8	革新的基礎研究	がんの研究者ではないのですが、研究開発代表者として本公募に応募は可能でしょうか？	可能です。その場合は、公募要領に記載してあるように、がん研究者を研究分担者として加えていただき、その研究開発分担者ががんの基礎研究を統括する体制を整えてください。
9	革新的基礎研究	複数の異分野と融合する研究になりそうなのですが、異分野を統括する機関が複数になっても構いませんか？	問題ありません。ただし、参画されるすべての研究機関は、研究代表機関からの再委託となりますので、進捗がきちんと管理出来る研究体制を整えてください。
10	革新的基礎研究	研究分担機関から、さらに業務連携する機関とAMEDの研究委託契約を締結しても良いのでしょうか？	AMEDは研究代表者の所属する機関と委託契約を締結しており、規定上代表機関からの再委託契約までが認められています。再々委託は出来ません。

No	分類	質問	回答
11	革新的基礎研究	公募要領に研究期間終了時に、次世代がん事業の研究提案に繋がる成果が求められています。次世代がん事業以外の事業に応募しても構わないでしょうか？	問題ありません。公募要領には、出口戦略としてのイメージを記載しております。
12	革新的基礎研究	医療機器の開発を目指した研究提案でも良いでしょうか？	特に制限をするものではありません。
13	革新的基礎研究	現在実施中の本事業の研究開発代表者が、別領域の研究開発代表者として本公募へ申請することは可能でしょうか？	課題の研究期間が重なる場合には、研究領域や研究フェーズに関わらず、別課題で本事業へ応募することはできません。詳細は、公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。
14	事業内重複制限	現在本事業の研究開発分担者をしていますが、新規に研究開発代表者として本公募で申請することは可能でしょうか？	研究開発分担者は、本公募へ研究開発代表者として応募可能です。詳細は、公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。
15	事業内重複制限	前回の一次公募と今回の2次公募の両方に研究開発代表者として応募することは可能でしょうか？	応募は可能ですが、同一年度での研究開発代表者としての研究支援採は1課題になります。1次公募の採択が決定した場合は、2次公募の応募は受け付けられません。公募要領2.1.1「重複制限について」をご参照ください。

No	分類	質問	回答
16	応募資格	企業研究者は応募できないのでしょうか？	本事業ではアカデミアの研究者が主体となり、研究シーズの研究開発を進めていただく応募と位置付けておりますので、研究開発代表者としての応募は出来ません。研究開発分担者としての研究参画は可能です。
17	応募資格	現在海外のラボに所属していますが、研究開始時には日本の研究機関へ赴任予定です。応募は可能でしょうか？	可能です。なお、応募はe-Radから行っていただきますので、新規赴任先のご担当者へ事前の承認をいただき、情報登録を行った上で、ご応募ください。なお、確認のため、あらかじめAMEDへご相談ください。
18	応募時の所属	5月か6月に異動する予定ですが、どこの所属で応募すればよいのでしょうか？	応募時の所属でご応募をお願いします。機関異動によって研究計画の進捗に影響のないことをAMEDで把握する必要がありますので、必要に応じてお問い合わせをする場合があります。
19	他事業との重複公募	AMED他事業（例：革新的がん医療実用化研究事業）の公募に申請していますが、この場合、2つが重複した内容になっても良いのでしょうか？	両事業への公募申請は可能ですが、内容が重複している場合、採択はどちらか1事業となります。公募要領4.4.1をご参照ください。必要に応じて、他事業の提案内容を確認させていただきます。

No	分類	質問	回答
20	提案書（記載内容）	記載内容について、確認や相談を受け付けてもらえるのでしょうか？	記載方法についての問合せは受け付めますが、記載内容に関する事前の確認や相談の問い合わせには対応していません。
21	提案書（記載内容）	申請する研究経費で外注費の上限はあるのでしょうか？	直接経費の範囲内であれば、研究提案に沿って、必要な経費を積算出来ます。なお、用途やその内容について問い合わせをさせていただく場合があります。
22	提案書（記載内容）	事後評価を受けましたが、その内容については今回の申請では考慮されますか？	事後評価の結果は本公募の採否には直接反映されるものではありません。
23	提案書（研究費の受け入れ状況/エフォート）	研究開発分担者の研究費の応募・受入等の状況・エフォートも記載が必要でしょうか？	研究開発代表者と同様に、必ず研究開発分担者も、それぞれ研究費の応募・受け入れ等の状況をご記載ください。
24	提案書（研究費の受け入れ状況/エフォート）	現在応募中の課題を含めてエフォート率を書くと100%を超えてしまう場合があるが、どのように記載すればいいのでしょうか？	提案書へ記載する「応募中の研究のエフォート」は、合算で100%を超える場合であっても研究を遂行するために必要なエフォート率をお書きください。応募中のすべての採否が決定した後は、100%を超えないように調整してください。

No	分類	質問	回答
25	提案書 (TPP・TRP)	TPPやTRPがなぜ必要なのでしょう？	製薬企業は、探索研究のかなり早い段階から、どのがん種の中のセグメントで創薬を行うのかを定めて研究開発を実施しています。P-PROMOTEでは、TPPやTRPを作成することによりアイデアが整理されて研究進展に結びつき、将来的には実用化に向けて企業との共同研究等の討議を進める際に、必要となるデータを顕在化させるためのツールになることを企図してしています。なお、革新的基礎研究は、これからシーズを探していただくこととなりますので、TPPやTRPの作成は不要です。
26	提案書 (TPP・TRP)	探索研究フェーズの初期段階のためTPPやTRPを正確に描くことが出来ないのですが、これらを作成しなければならないのでしょうか？	TPP、TRPはそれぞれ、提案された研究を進め、「どのような薬剤開発」を行い、「どのような治療法」を目指すのかをまとめていただくものになります。完成版である必要はありませんので、記載例を参考にアイデアを整理することを目的に作成してください。
27	提案書（PPIの記載）	細胞や動物実験が主体の基礎研究で患者参画を考えることは非常に難しいのですが、どうしたら良いのでしょうか？	本事業は、創薬の基礎・応用研究段階ですので、PPIの取組みは必須ではありません。

No	分類	質問	回答
28	提出書類	なぜヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式の提出が必須なのでしょう？	公募要領3.2.7に詳しく記載していますが、AMEDが支援する研究開発から得られたデータの利活用を推進するために、AMEDデータ利活用プラットフォームの整備を進めています。本事業で得られたゲノムシーケンスデータを、将来的に、これらのデータベースで統合して利活用を進めていくためには、その測定方法を教えていただく必要があります。そのため、プロトコール様式の提出を必須としています。
29	提出書類	動物実験に関する自己点検・評価結果はどこから入手すれば良いのでしょうか（どこにあるのでしょうか）？	動物実験に関する自己点検は各大学・研究機関等で行われています。所属機関に確認して最新版を提出してください。
30	提出書類	公募要項にPMDAの事前面談・対面助言についての記載がございますが、これらの資料は必須でしょうか？	公募要領4.2に記載がありますが、応募時に「レギュラトリーサイエンス戦略相談」等の資料は任意での提出となっています。ご提出の際は、本提案に関連する「レギュラトリーサイエンス戦略相談」の内容をまとめたものを添付してください。その内容等に関する書式はありません。

No	分類	質問	回答
31	審査基準	提案書の審査基準を教えてください。	提案書の評価視点は公募要領5.2.2「審査項目と観点」に記載しています。また、公募要領2.2に各研究フェーズ及び研究領域で求める成果等記載していますので、そちらもご参照下さい。また、別表1「P-PROMOTEでの研究領域と研究推進の考え方」および別表2「推進する研究課題の研究フェーズとイメージ」に本事業でのフェーズの考え方を各領域ごとに提示していますので、こちらも併せてご参照ください。
32	e-Rad	e-Radに最終申請の登録が出来ないのですが、どうすればいいのでしょうか？	技術的な内容や操作に関するお問い合わせは、e-Radへ直接お問い合わせください。 なお、研究開発代表者および研究開発分担者の所属や役職等に変更があった場合に機関承認されな いで止まっていることがあります。 e-Radは、システム上、複数の承認を同時にすることが出来ません。研究開発代表者だけでなく研究開発分担者の変更承認依頼がされていないかどうかをご確認ください。